

こころの健康（指標）

領域	領域3 ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備												最終評価（R4）																								
分野	こころの健康												b（不変）																								
指標名	支援が必要な程度の心理的苦痛を感じている者（K6の合計点数10点以上）の割合を減らす（20歳以上）												中間評価（H30）																								
出典	国民生活基礎調査 [厚生労働省]												b（不変）																								
指標数値の推移 （20歳以上） （参考：男性） （参考：女性）	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																				
				10.5%			11.5%			10.7%			10.9%																								
				9.8%			10.7%			9.7%			9.4%																								
				11.1%			12.3%			11.6%			12.3%																								
図表	<table border="1"> <caption>図表：支援が必要な程度の心理的苦痛を感じている者の割合（20歳以上）</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>総数 (%)</th> <th>男性 (%)</th> <th>女性 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>10.5</td> <td>9.8</td> <td>11.1</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>11.5</td> <td>10.7</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10.7</td> <td>9.7</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>10.9</td> <td>9.4</td> <td>12.3</td> </tr> </tbody> </table>																	年次	総数 (%)	男性 (%)	女性 (%)	H22	10.5	9.8	11.1	H25	11.5	10.7	12.3	H28	10.7	9.7	11.6	R1	10.9	9.4	12.3
年次	総数 (%)	男性 (%)	女性 (%)																																		
H22	10.5	9.8	11.1																																		
H25	11.5	10.7	12.3																																		
H28	10.7	9.7	11.6																																		
R1	10.9	9.4	12.3																																		
分析	<p>■支援が必要な程度の心理的苦痛を感じている者（K6の合計点数10点以上）の割合は、ベースライン値と比べてやや増加している（増減率：▲3.8%）。（男性がベースライン値と比べてやや減少しているのに対し、女性はベースライン値と比べて増加している（増減率：男性▽4.1%、女性▲10.8%））</p> <p>■最終評価時では中間評価時と比べて、数値がわずかに増加しているが、おおむね不変である。</p> <p>■なお、国におけるこの数値は、ベースライン（平成22年）10.4%に対し、最終評価（令和元年）10.7%であり、変わらないという評価である。</p>																																				
評価	<p>■支援が必要な程度の心理的苦痛を感じている者（K6の合計点数10点以上）の割合は、ベースライン値と比べて増加した。</p> <p>■増減率が指標の方向に対して-5%以内であり、数値はおおむね不変であることから、最終評価を「b（不変）」とする。</p>																																				
課題	<p>■引き続き、上手なストレス対処法や自身や周囲の人のこころの不調に早めに気づく方法等について、地域や職域の推進主体と連携しながら普及啓発を行う。</p> <p>■コロナ禍においてストレスが増大する、孤立や孤独を感じるなど心身の不調や悩みを抱える人が増えていることから、こころの不調の早期発見・早期治療のため、様々な悩みに応じた適切な相談窓口につなげる取組を推進する。</p>																																				